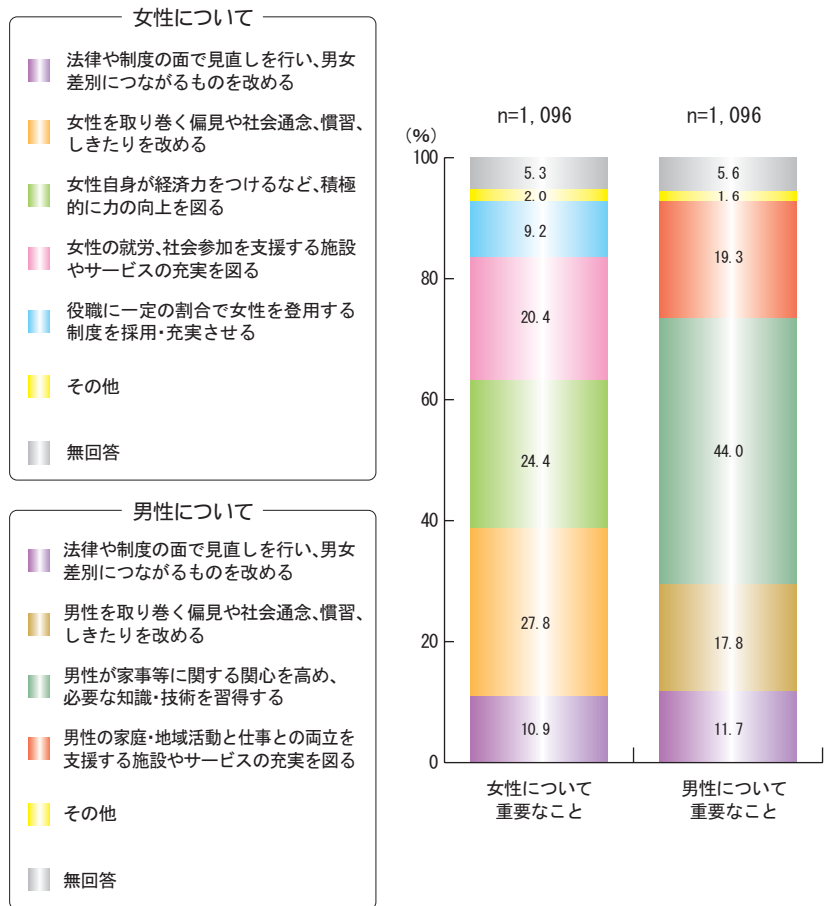


男女平等になるためには、女性については「偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」こと、男性については「家事・子育て等に必要な知識・技術を習得する」ことが重要

男女平等になるためには、女性については「女性を取り巻く偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」(27.8%)ことや「女性自身が経済力をつけたり、積極的に力の向上を図る」(24.4%)ことが必要と考える割合が高くなっています。

一方、男性については「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関する知識を高め、必要な知識・技術を習得する」(44.0%)ことが必要と考える割合が高くなっています。

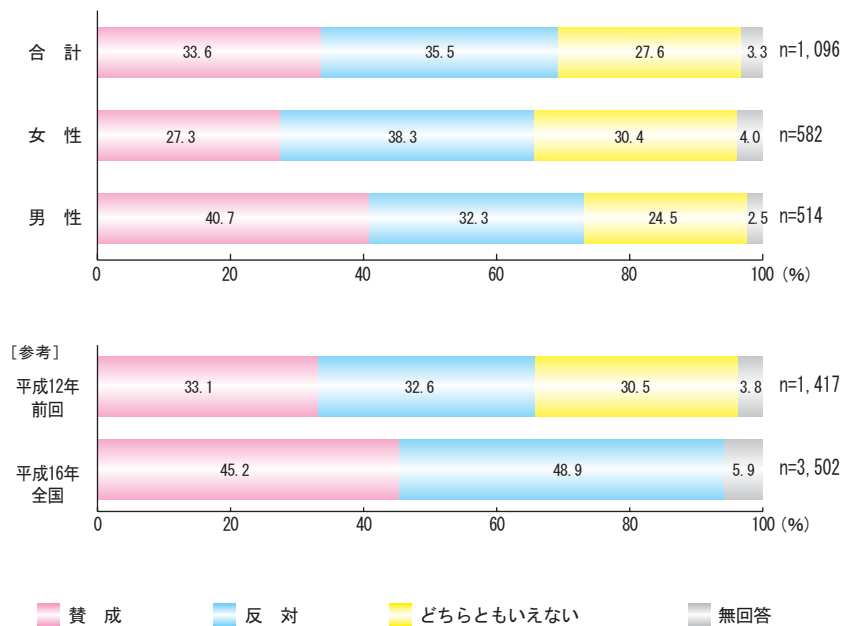
## 男女平等になるために重要なこと



## 特に男性に根強い性別役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「賛成」は33.6%、「反対」は35.5%となっています。前回調査(平成12年9月)とほぼ同様の結果であることがわかります。また、女性は「反対」(38.3%)、男性は「賛成」(40.7%)の割合が高くなっており、男女の意識の違いがはっきりと現れています。

## 「男は仕事、女は家庭」という考え方について



※前回データ：男女共同参画社会づくりのための県民意識調査(平成12年9月、宮崎県)  
 ※全国データ：男女共同参画社会に関する世論調査(平成16年10~11月、内閣府)  
 注)全国データは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について調査  
 注)全国データの「わからない」を「無回答」とみなして表示